

## 第17号

発行責任者  
埼玉県西部支部  
支部長 岡部奈緒美

発行日  
令和5年2月1日

事務局  
〒350-0451  
入間郡毛呂山町毛呂  
本郷227



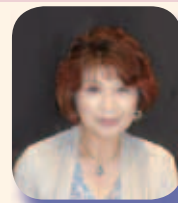
# 東洋大学校友会 埼玉県西部支部だより



埼玉伝統工芸会館(小川町)

## 支部長あいさつ

埼玉県西部支部支部長 岡部 奈緒美  
(昭57年卒・経済)



新型コロナウイルス感染拡大によつて校友会活動ならびに支部活動が制限されて、三年間が経過しました。

そのような中、今年度は感染防止対策を施しながら支部総会と講演会、恒例の親睦バスツアーを実施致しました。少しずつではありますが、これまでの校友会活動ならびに支部活動が戻ってきたように感じております。

来年度は、昭和4年に設立された埼玉県支部が東西に分割されてから数えて20年を迎えます。そこで、7月に「埼玉県東西支部創立20周年記念式典」を埼玉県東西支部合同で開催致します。また、今年度からスタートしました「活躍する支部の校友めぐり」においては、若い校友の活動をより多くの皆さまにお伝えしていきたいと考えております。

また、来年度は支部におけるSDGsについても考えてみることも課題にしたいと考えております。さらに充実した校友会活動ならびに支部活動が展開されますことを期待して、役員会員の皆さまと共に楽しく歩んでまいりたく存じますので、今後とも多くの皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和四年度 埼玉県西部支部 校友の集い・総会報告

### 三年ぶりの対面総会!!

令和四年度も新型コロナウイルスのオミクロン株などの影響により感染者が増加しましたが、ワクチン接種等の感染拡大防止に向けた対策により感染者数が減少し、規制が緩和されてきました。心配される状況も続いていましたが、本年度の総会について次のように準備を進めました。

### 《昨年度における準備》

埼玉県西部支部では昨年度の十二月の役員会において、令和四年度の定期総会を令和四年七月二日(土)、午後一時から東洋大学川越キャンパスで開催することを決定し、準備を始めました。そして、令和四年度の活動計画と総会の準備等を具体化するため役員会を二月に計画しました。しかし、オミクロン株により感染者が急増したため役員会を书面会議で行いました。

### 《令和四年度における準備》

本年度になり四月十七日に開催された役員会において、役員改選・規約改正・事業計画や予算等が検討さ

れました。そして、総会実施に向けて、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意するとともに、支部の会員が直接集う貴重な機会である総会を可能な限り対面で開催する方針を確認し、校友会本部や他支部の動向なども踏まえながら次のように計画しました。

- ① 総会と講演会のみ実施する。
- ② 来賓は会長のみ招待する。他支部については近隣支部から招待された場合に限り招待する。
- ③ 講演会の講師は、一部に昇格したラグビー部監督の福永昇三氏に依頼する。

### 《支部会員への案内》

会員に対しては前述したことに留意し、案内文には昨年同様に①新型コロナウイルスの感染状況によって中止する可能性がある、②懇親会は中止するという二点を記しました。このことを理解していただいたうえで参加不参加の返信をお願いした案内を送付しました。

### 《対面による「総会・校友の集い」開催の決定》

「コロナ」の感染者数も減少した六月十九日に役員会が開催され、感染防止を徹底し、対面による総会を実施することを決定しました。役員



会では規約改正案と新役員案を含む議案が承認され、当日の準備計画を確認し合いました。また、役員からの提案により、総会で「ウクライナ学生支援」のため総会参加者へ募金の呼びかけをすることにしました。

なお、他支部の来賓招待に関しては、多くの支部から案内を中止した通知が届いたため西部支部としても同様に対応しました。しかし、埼玉県東部支部からは案内があり、西部支部からも招待することとしました。

### 《令和四年度の総会の概要》

本年度の総会は、次の「次第」により行われました。司会は高野正史理事が担当しました。

#### 【次第】

- 一 開会の辞 副支部長 横山 清
- 二 黙祷
- 三 大学歌斉唱(心の中で斉唱)
- 四 支部長挨拶

五 来賓祝辞 支部長 岡部 奈緒美

一社東洋大学校友会会長

神田 雄一様

来賓紹介

埼玉県東部支部代議員

本部理事 伊藤 祐二様

六 議長選出(理事 桜庭昌吾)

七 議事

第一号議案

令和三年度会務報告

事務局長 中島 明男

第二号議案

令和三年度収支決算報告

会計 村野 公平

令和三年度監査報告

監事 小野澤 康弘

第三号議案

一般社団法人東洋大学校友会

埼玉県西部支部規約改正案

事務局長 中島 明男

第四号議案

令和四年度役員(案)

支部長 岡部 奈緒美

第五号議案

令和四年度事業計画(案)

支部長 岡部 奈緒美

第六号議案

令和四年度予算(案)

会計 村野 公平

その他

八 閉会の辞 副支部長 中村 義次



【各議案の概要】

第一号議案 令和三年度事業報告

～主な活動を抜粋して紹介～

\*総会 令和三年七月三日(土)

十三時から東洋大学川越キャンパスにて実施と案内したが、感染防止のため書面議決

(参加申込み者二十七名)

\*レディース部主催バスツアー

令和四年二月二十六日(土)

目的地 越生梅林と酒蔵巡り

※例年の日程を秋から冬へと二度変更したがコロナのため、次年度へ延期

\*役員会：原則として偶数月開催(六回実施)

\*埼玉県西部支だより十六号発行

令和四年二月一日 千部

\*周辺支部総会への参加

本年度も招待・参加なし

\*埼玉白山教育会への支援と総会

(令和三年十二月十八日)への出席 オンラインで開催・支部長参加

\*支部長が理事会・全国支部長会・

全国女性連絡会議総会等にオンライン・書面等で参加

\*代議員会(書面議決・代議員)

\*再開催の代議員会(書面・オンライン等 代議員参加)

\*陸上競技部や硬式野球部へ支援

\*困窮学生への支援金寄付

第二号議案 収支決算書(表1参照) 令和三年度監査報告

監事(矢部操・小野澤康弘)による監査の結果(令和四年五月十三日)について、小野澤監事から適正に執行されているとの報告があり、承認されました。

第三号議案 一般社団法人東洋大学

校友会埼玉県西部支部規約改正案 校友会が一般社団法人化されたことに伴う文言や役員の選出方法などが主な改正点です。

第四号議案 令和四年度役員案

支部役員・代議員・本部理事が提案・報告され、任期の誤記を訂正の後、新役員が承認されました。

第五号議案 令和四年度事業計画案

～主な計画(抜粋)～

本年度も支部規約に定める目的達成のため次の事業を進めます。

一 支部組織の充実と地域活動の活性化

二 会員相互の連絡と親睦

三 広報活動 会報十七号の発行

四 母校行事への協力及びび学生生活への支援

五 近隣支部との連携

六 浦水会との連携

なお、本年度も「新型コロナウイルス」感染拡大により、計画変更の可能性があると補足がありました。

計画案は原案どおり承認されました。

第六号議案 収支予算書(表2参照) 原案通り承認されました。

【議事を振り返って】

総会は議長に選出された桜庭昌吾理事の進行と参加者のご協力により、

各議案は慎重かつ円滑に審議され、全会一致で承認されました。

なお、議案書の一部に誤記があったことは反省点です。今後、事務局としては校正を徹底するなどにより改善に努めてまいります。

総会終了後、講演会の準備の時間を利用して、議案書の資料をもとに、学生・OB、校友の活躍の様子が紹介されました。

《講演会》

本年度の講演は、関東大学リーグの一部昇格を果たしたラグビー部監督の福永昇三氏にお願いしました。

講演会は、長澤政行理事による講師紹介から始まりました。

福永監督は本学OBで学生時代はキャプテンとして活躍されています。卒業後は三洋電機ワイルドナイツ

表1 収支決算書

表2 収支予算書



に所属、二〇〇九年に日本一を達成しています。その後、明治大学ラグビー部FWコーチに就任し、二〇一八年から東洋大学監督に就任し、一部昇格を果たしています。

講演では、監督自身のラグビー人生とともに東洋大学ラグビー部で大切にされていることなどをお話しただきました。その中で印象に残っていることは、「ありがとう」を伝える大切さ、チームで大切にしていく三つのこと（「かっこいい男になる」「凡事徹底」「今ここに集中すること」）です。このことはラグビー部員に対する方針ですが、私たち社会人にとっても大事なことであり、分かりやすい言葉で話していただけました。ラグビー部の今後の活躍が期待でき、さらに応援したくなる講演でした。

講演会は、柴田正男副支部長から福永監督への謝辞が述べられ、閉会となりました。

### 《記念撮影と近況報告》

講演会終了後、「支部だより」に掲載する参加者全員の記念撮影を行いました。

続いて、参加者から近況報告をしていただきました。

初めて参加された方、昭和三八年に卒業された高齢の方、久しぶりの

参加の方などコロナ禍にもかかわらず多くの会員に参加していただき、短時間でしたが交流を深めることができました。

令和四年度の校友の集いは、皆様から一言ずつ頂き、来年の再会を誓い合い、閉会となりました。

### 総会会場において

#### 「ウクライナ学生支援」募金

東洋大学にはウクライナから避難してきた学生が九名在学しています。彼らは故国の家族を思いながら、慣れない日本で勉学に勤しんでいます。

西部支部では少しでも彼らのお役に立ちたいという思いで、参加者に募金を呼び掛けることにしました。写真は受付に置いた募金箱です。



皆様のご協力により一万円の募金が集まりました。東洋大学社会連携推進室募金課に送らせていただきました。

### 《おわりに》

本年度も「コロナ禍」のもと様々な困難がある中、支部会員の知恵と協力により活動を進めています。主なものを二つ紹介します。

一つは昨年同様、例年六月実施の



「バスツアー」と秋に行っている「散策」とを併せて実施（十一月二十日・酒蔵巡りと百鬼丸作品展）しました。

両事業の趣旨を生かした企画です。また、今回の目的は全てOBが関係しています。OBの活躍を見学することは私たち会員の励みになりました。

二つ目は、母校・学生支援です。陸上競技部・硬式野球部・ラグビー部へ「激励米」を贈り、大学へは学生支援として寄付金を贈りました。

また、硬式野球部二部リーグ優勝を期して、支部有志で上尾市民球場まで応援に行きました。その試合は残念な結果でしたが、偶然同席したOBが正会員になってくださるとい

う嬉しい出会いがありました。

コロナ禍のため各事業への参加が難しい状況が続いています。一日も早くコロナが収束し、皆様笑顔で参加できる日を心待ちにしています。結びに、川越キャンパス教学課の皆様には「総会・校友の集い」開催にあたり多大なるご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。併せて、会費の納入を含め皆様のご協力をお願いします。

### 創立二〇周年記念式典について

平成十六年（二〇〇四年）五月、埼玉県支部から西部支部と東部支部の二つに分割し、それぞれ独立し、現在に至っています。

記念式典（総会・記念式典）は両支部の代表からなる実行委員会が中心となり準備を進めています。日時 令和五年七月一日（土）

支部総会 十三時〜

記念式典 十四時三〇分〜

会場 白山キャンパススカイホール  
※ 「コロナ」感染状況により会場等に変更の可能性があります。

会場・会費等の詳細は別途お知らせします。

多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。





# 親睦バスツアー

桜庭昌吾(昭和44年・法学)

令和4年11月20日(日)、校友会

西部支部のレディース部と西地区共催で「酒蔵&校友めぐりツアー」を2年ぶりに実施しました。コロナ感染症防止の観点から参加者数を20名限定で募集しましたが、当日都合で2名が欠席でしたが、和気藹々懇親を深めることができました。

8時40分本川越駅、9時ウエスタ川越に参加者全員が集合、司観光バスで定刻通り出発しました。さっそく岡部地区長の司会進行により、和



佐藤酒造

やかなうちに会が進められました。

続き、岡部支部長のあいさつがあり、校友会と大学の当面の話題の提供がありました。

御嶽海の大関復帰の応援、三大駅伝では優勝はないがなんとか頑張っており、箱根駅伝はみんなまで応援しよう、ラグビー部が善戦している事、東都野球2部で低迷している硬式野球部の杉本監督が退任し、井上コーチが監督就任の見込みである等々が話されました。また、大学は安定し



松岡醸造



松岡醸造専務

た収入があり経営が極めて安泰であること、赤羽台校舎が完成し、来年度からいくつかの学部が移って授業が始まるとの情報がありました。

ツアーでは、まず初めに、小川町の埼玉伝統工芸会館での切り絵の「百鬼丸展覧会」を鑑賞しました。周りを圧倒するような超大作の大きな切り絵が所狭しと何点も展示されていました。一作品が300万円とか150万円など販売価格にも驚きました。

百鬼丸さんは、東洋大学工学部建築学科出身で、川越市在住の著名な刃絵漫画家の作家です。会場では作家本人から親しく私たち校友会参加者に色々説明をいただきました。

次に、10時40分、小川町にある松岡醸造「帝松」で、専務から「お酒ができるまで」を酒蔵の中を歩きながら懇切丁寧に説明、案内していただきました。この若社長の奥さんが東洋大学出身でした。説明の後は色々なお酒の試飲をして、味わいの違いを勉強させていただきました。

たくさん勉強したので酔ってしまいました。皆でお酒の買い物をして、続いて越生町の佐藤酒造「越生梅林」に行きました。佐藤酒造の専務はやはり東洋大学工学部出身で私たちの校友仲間でした。東洋大学の酵母を使い、佐藤酒造店で産官学連携の新ブランド日本酒の開発を進めています。開発に成功するよう願っています。

その後、12時半過ぎ、埼玉医科大学の7階にある「フォンテーヌ」にて、五十嵐さんの乾杯の音頭で昼食懇親会となりました。二カ所の酒蔵の試飲で、半ばできあがっていましたが、ここでのビールもまた味わいがありました。会場は広く清潔で、おしゃれでおいしいお料理で満足しました。

最後の訪問は、飯能市の「発酵食品 OH」でした。日本の発酵食品の良さを見学し、買い物をして観光バスは解散地である飯能駅とウエスタ川越に向かい、解散となりました。コロナ感染防止のため会えなかった校友と久しぶりに会え、懇親を深めることができました。今日は楽しく満足した有意義な一日でした。皆さんありがとうございました。皆さんあ



# 町民に元気を!! サプライズ花火

岡 部 和 雄(昭和57年卒・経済)



毛呂山町商工会(会長・岡部和雄)は、毎年8月に夏の風物詩として、まちづくり、まちへの愛着心と町民ぐるみの連帯感向上、そして商工業の活性化と地域振興の一助に資するため「サマーフェスティバルinもろやま」を開催してきました。約五千



人以上の来場者で賑わい、多くの商工業者の出店により経済効果が創出されました。また花火師たち

が精魂込めたスターマインをはじめ、約三千発の花火が毛呂山町の夜空に上がりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大により多くの人々が密集するサマーフェスティバルは、令和



二年に中止されました。その後、多くの町民の方々からサマーフェスティバル開催の要望がありました。花火の由来は、今から二八八年前に、飢饉や疫病に見舞われた八代將軍徳川吉宗が一七三三年夏に鎮魂や疫病退散祈願のために隅田川において花火を打ち上げたことが始まりであるといわれ、これが最古の「隅田川花火大会」であります。そのようなこともあつて令和三年と翌年の四年に、人々の密集を避け、打ち上げ場所を公表せずに「サプライズ花火」を打ち上げました。

これからも私たち商工会は、町民に元気を与えるためにさまざまなイベントを実施していきます。

## 第二十五回

### ホームカミングデー

ホームカミングデー(大学主催)が令和四年10月30日、三年ぶりに白山キャンパスで開催されました。埼玉県西部支部からは支部長はじめ六名が開会行事と村田諒太氏の講演会に参加しました。

開会行事は安齋隆理事長と矢口悦子学長の挨拶があり、発展する大学の現状とコロナ禍での対応、ウクライナ学生の受け入れとゼレンスキ大統領の演説に至る経緯などを聞くことができました。

村田諒太氏の講演は司会の質問に答える形で進行了ました。高校・大学時代の思い出やボクシングや人生そして今後についてユーモアを交えてお話しいただきました。

「私は努力家ではない。ただ追い求めただけ。終わったら結果がついてきた。」「人生の問いに、必死にその場その場で答えた人間が生き残る」等の言葉が印象に残っています。校友会本部は「全国物産展」を開催し、各支部からの提供品を販売しました。西部支部からは川越の芋菓子を出品しました。

ホームカミングデーは大学の今を知り、校友と交流する絶好の機会です。来年は皆さんも参加しませんか。





# 校友紹介

鶴岡 雄大 (平30年・ライフデザイン・スポーツ健康学科)



私の大学時代は日々勉学に励むとともに、サッカークラブの指導者や成人式の実行委員などボランティア活動にも積極的に参加し、とても有意義な学生生活を過ごしていたと思います。大学3年生から始まるゼミ活動ではゼミ長を務め、貴重な経験もさせていただきました。この頃から少しずつ就職活動も始まり、自分にはどのような職業が向いているのか、たくさん悩んだのを今でも覚えております。そのような中で、生まれ育った地元で貢献し、よりよい町にしていきたいという思いが強くなりました。

その結果、埼玉県にある毛呂山町の職員として無事勤務することができ、現在は社会人4年目となります。

私の配属先となった生涯学習課という部署では、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々と接し、学びの場を提供したり、事務局としてイベントの運営に携わるなど、非常にやりがいのある仕事です。

ここ数年は新型コロナウイルスの影響により、イベントの中止や縮小など余儀なくされ、これまでと同様の方法で実施することが難しい状況です。しかしながら、オンラインを



活用した新しい事業を行うなど、一つ一つの事業内容を見直す良いきっかけにもなりました。

今後は様々な部署を経験し、大学で学んできたことを活かしながら、より活気あるまちづくりに貢献できるように日々精進していく所存です。



硬式野球部

今季の活躍を讃え  
ラグビー部・硬式野球部・陸上競技部へ  
『激励米』を贈呈

36年ぶりに1部リーグへの復帰を果たした東洋大学ラグビー部は、今季全日本学生選手権に出場しました。惜しくも早稲田大学に敗れてしまいましたが、来季のさらなる活躍を期待して校友会埼玉県西部支部から『激励米』を贈呈しました。

また、同じ川越キャンパスを本拠地としている陸上競技部と硬式野球部にも同様に『激励米』を贈りました。



ラグビー部

# 箱根駅伝

1月2〜3日に開催された「第99回東京箱根間往復大学駅伝競走」では、2年ぶりに沿道での観戦が許可されて熱戦が繰り広げられました。往路は5区の前田義弘選手（4年・東洋大牛久）の活躍や小林亮大選手（2年・豊川）の力走によって11位でゴールしました。復路は8区木本大地選手（4年・東洋大牛久）が区間賞の快走、9区梅崎蓮選手（2年・宇和島東）の活躍や10位を死守した清野太雅選手（4年・喜多方）の頑



4区 柏優吾  
4年・経済(豊川)



2区 石田亮介  
2年・総合情報(東農大二)

張りなど、シード権を獲得するために「その1秒を削り出す」必死の走りによって、復路6位総合10位で大手町へゴールし、18年連続のシード権を死守することができました。シード権を取ることによって、10月の出雲駅伝の出場権を獲得することができま。その意味においても箱根駅伝でシード権内に入るとは大きなことなのです。酒井監督と陸上競技部長距離部門選手の皆さんのご健闘を讃えます。おめでとうございます。



9区 梅野蓮  
2年・総合情報(宇和島東)

**【酒井監督からのメッセージ】**  
18年連続シード権死守で今大会は終わりました。次回の大会に向けて上位で戦う力を養います。ありがとうございました。

# 埼玉県西部支部役員

顧問	坂井 奈緒美
支部長	岡部 正男
副支部長	柴田 正男
副支部長	横山 清
副支部長	中村 義次
常任理事	中島 明男
常任理事	村野 公平
常任理事	峯岸 博
常任理事	長澤 政行
常任理事	五十嵐 康
常任理事	北澤 昌吾
常任理事	桜庭 英明
常任理事	岩間 義次
常任理事	佐久間 昭史
常任理事	渡辺 正
常任理事	高野 弘
常任理事	矢野 康
常任理事	小野 和雄
常任理事	岡部 佳弘
地区役員	高沢 佳弘
地区役員	坂井 康
地区役員	五十嵐 昌
地区役員	桜庭 政行
地区役員	長澤 義次
地区役員	柴田 明男
地区役員	中島 義次
地区役員	岡部 正男
地区役員	横山 清
地区役員	高野 正
地区役員	岡部 奈緒美
地区役員	坂井 奈緒美

**編集後記**  
西部支部だより、第17号をお送りいたします。  
コロナ禍も中々収まらず、行事が思うように組めない状況が続いている中、硬式野球部の応援や東洋大学OB関連の酒蔵巡り、切り絵の百鬼丸氏の展示会を見学し、有意義な一日を過ごさせていただきました。  
校友の皆様の多くが、正月と云えば、東京箱根間往復駅伝通称(箱根駅伝)をテレビで応援していることと思います。選手達の頑張りやシード権(10位)を確保できました。  
来年は、100回の記念大会でもあり、優勝目指して頑張っていたきたいと願っております。  
(広報部 文責 中村)

**校友会へ参加しませんか**  
皆様もご存じのように母校の発展は、めざましく、偏差値も急上昇中です。スポーツでは、関東大学女子サッカーリーグで初優勝したサッカー部やアイスホッケー部の二連覇及び三冠、女子長距離部門の選手達の活躍も期待され、今後が楽しみです。  
ぜひ、東洋大学埼玉県西部支部に入会され、老若男女問わず、青春のあの日に戻り、熱く語り、後輩の活躍と一緒に応援しましょう。  
役員一同お待ちしております。